

# 2014年3月期第1四半期 決算概要



(注) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。

(例：2014年3月期は「2013年度」と表記)

資料内の「1Q」表記は4月から6月までの期間を指します。

# 決算概要①

売上高は、2010年度第1四半期（4.5%減）以来 3年ぶりの減収  
2012年度第1四半期に続き 2年連続の営業損失、経常損失および四半期純損失

## ■連結 (億円, %)

	2013/1Q (A)	2012/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	6,233	6,295	△ 62	△ 1.0
営業損益	△ 369	△ 13	△ 355	—
経常損益	△ 463	△ 97	△ 366	—
四半期純損益	△ 295	△ 125	△ 170	—

## ■個別 (億円, %)

	2013/1Q (A)	2012/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	5,860	5,934	△ 74	△ 1.3
営業損益	△ 396	△ 35	△ 361	—
経常損益	△ 459	△ 95	△ 364	—
四半期純損益	△ 282	△ 117	△ 165	—

## ■主要諸元

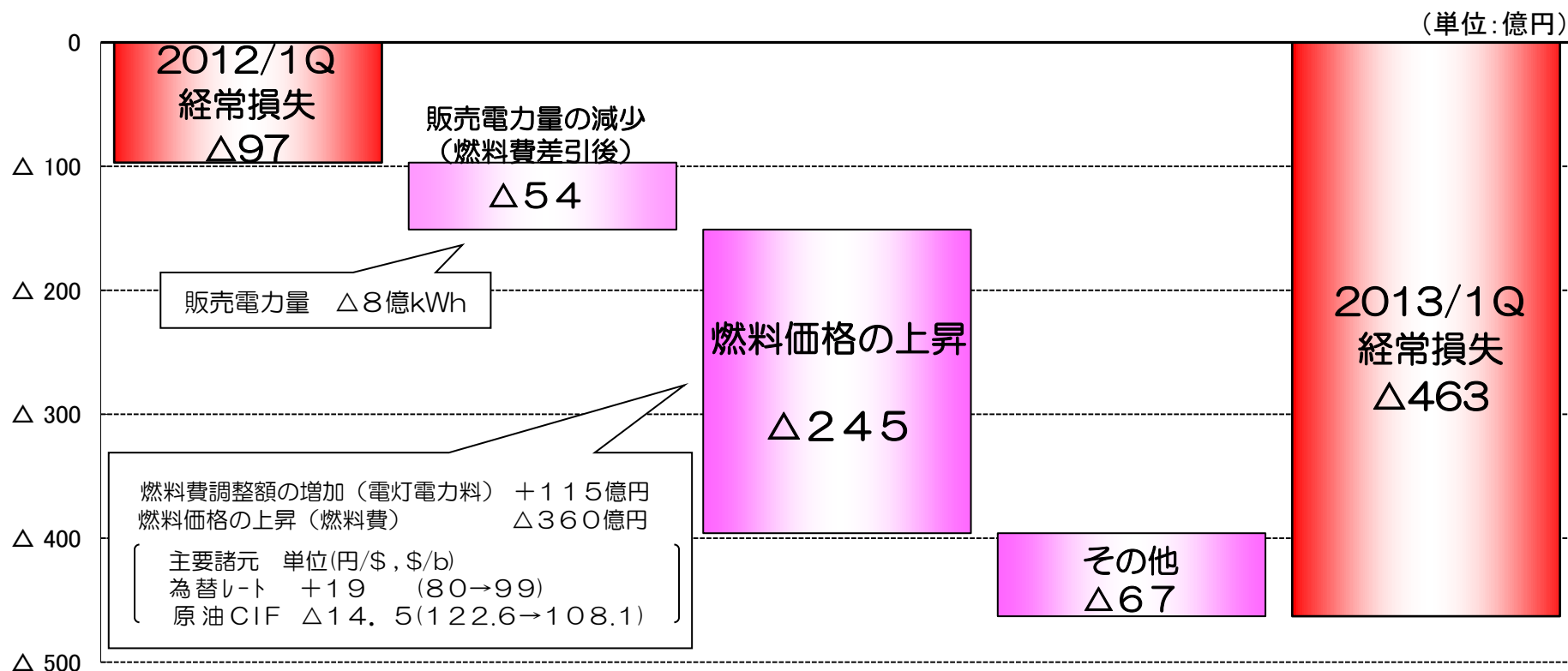
項目	2013/1Q (A)	2012/1Q (B)	増減 (A-B)
販売電力量 (億kWh)	293	301	△ 8
原油CIF価格 (\$/b)	108.1	122.6	△ 14.5
為替レート(円/\$)	99	80	19
原子力利用率 (%)	—	—	—

※ 2013年度第1四半期の原油CIF価格は速報値

## ＜前年同期比較 連結経常損益の主な変動要因＞

- ・ 販売電力量の減少（燃料費差引後）  $\Delta 54$  億円
- ・ 燃料価格の上昇  $\Delta 245$  億円
- ・ その他（水力の減など）  $\Delta 67$  億円

【連結経常損益の変動要因】



## ■販売電力量

(億kWh, %)

		2013/1Q (A)	2012/1Q (B)	増減	
				(A-B)	(A-B)/B
規制対象 需要	電灯	76	79	△ 3	△ 4.0
	電力	13	14	△ 1	△ 6.8
	計	89	93	△ 4	△ 4.4
自由化対象 需要	業務用	50	51	△ 1	△ 1.6
	産業用他	154	157	△ 3	△ 2.0
	計	204	208	△ 4	△ 1.9
合計		293	301	△ 8	△ 2.7

## ■発電電力量

(億kWh, %)

		2013/1Q (A)	2012/1Q (B)	増減	
				(A-B)	(A-B)/B
自 社	水力 (出水率)	21 (83.0)	25 (100.1)	△ 4 (△ 17.1)	△ 13.7
	火力	270	285	△ 15	△ 5.3
	原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
	新エネルギー	0	0	△ 0	△ 7.8
融通・他社受電		25	10	15	143.6
揚水用		△ 2	△ 2	△ 0	7.0
合計		314	318	△ 4	△ 1.2

# 2013年度 業績見通しの概要

## ■ 連結

(億円)

[連結経常損益の主な変動要因]

(億円)

	2013年度予想 今回公表 (A)	2013年度予想 4/26公表 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	27,200	27,100	100
営業損益	△ 750	△ 850	100
経常損益	△ 1,100	△ 1,200	100
当期純損益	△ 750	△ 850	100

経営効率化緊急対策 (修繕費・諸経費)	+ 100
燃料価格の変動 (燃料費調整額考慮後)	+ 90
水力の減など	△ 90
経常損益への影響	+ 100

## ■ 個別

(億円)

	2013年度予想 今回公表 (A)	2013年度予想 4/26公表 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	25,600	25,500	100
営業損益	△ 900	△ 1,000	100
経常損益	△ 1,200	△ 1,300	100
当期純損益	△ 800	△ 900	100

## ■ 主要諸元

	2013年度予想 今回公表 (A)	2013年度予想 4/26公表 (B)	増減 (A)-(B)	変動影響額 (億円)
販売電力量 (億kWh)	1,241 程度	1,241 程度	同程度	1% 30
原油C I F 価格 (\$/b)	113 程度	115 程度	△2 程度	1\$/b 90 ※1,2
為替レート(円/\$)	98 程度	98 程度	同程度	1円/\$ 120 ※1

※1 燃料費に対する変動影響額を記載しています。なお、原油CIF価格および為替レートの変動については、平均燃料価格が変動する場合に燃料費調整制度が適用され、収入に反映されます。

※2 LNG価格は原油価格の影響を受けることから、影響度合いを考慮して算定しています。

# 2013年度 個別業績見通し (対前期)

5

(億円)

	2013年度 予想 (A)	2012年度 実績 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	25,600	24,856	740 程度
営業費用	26,500	25,145	1,350 程度
営業損益	△ 900	△ 289	△ 610 程度
経常損益	△ 1,200	△ 521	△ 680 程度
当期純損益	△ 800	△ 353	△ 450 程度

[経常損益の主な変動要因] (億円)

販売電力量の減 (燃料費差引後)	△ 170
燃料価格の上昇 (燃料費調整額考慮後)	△ 310
人件費の増	△ 70
減価償却費の増	△ 70
経営効率化緊急対策	+ 100
支払利息の増 など	△ 160
<hr/>	
経常損益への影響	△ 680

## ■主要諸元

	2013年度 予想 (A)	2012年度 実績 (B)	増減 (A-B)
販売電力量 (億kWh)	1,241程度	1,266	△ 25程度
原油CIF価格 (\$/b)	113程度	113.9	△ 1程度
為替レート(円/ドル)	98程度	83	15程度
原子力利用率 (%)	—	—	—

## ■当期の配当予想

2013年度の配当予想につきましては、「未定」としております。

## ■配当の状況（個別）

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2013年度 （予想）	未定	未定	未定
2012年度	25円	25円	50円

## ■株主還元に関する考え方（2012年7月30日公表）

株主還元につきましては、電力の安全・安定的な供給に不可欠な設備の形成・運用のための投資を継続的に進めつつ、財務状況などを勘案したうえで、安定配当に努めていくことを基本といたします。

## 当資料取扱上のご注意

当資料に記載の将来の計画や見通し等は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。

これらの将来の計画や見通し等は、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向等により、実際の結果とは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

また、当資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。